

## 山口大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

当院では、以下の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、以下の問合せ先までお申出ください。

その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

① 研究課題名	AI（人工知能）による肺結節検出機能を用いた肺動静脈奇形の検出の有用性に関する検討		
② 実施予定期間	2023年11月2日から2029年3月31日		
③ 対象患者	以下の対象期間中に当院でCT検査を受けられた肺動静脈奇形の患者さん（陽性群）。また、同時期に胸部CTを施行された患者さんのうち、陽性群の患者さんと年齢、性別、撮影装置や条件が一致する肺動静脈奇形を有さない患者さん（対照群）		
④ 対象期間	2015年1月1日から2023年3月31日		
⑤ 研究機関の名称	山口大学医学部附属病院		
⑥ 対象診療科	全診療科（先進救急医療センターを除く）		
⑦ 研究責任者	氏名	伊東克能	所属 放射線科
⑧ 使用する情報等	識別コード、年齢、性別、現病歴、既往歴、CT画像		
⑨ 研究の概要	<p>近年、画像診断モダリティにおける人工知能（AI）の技術が発達しており、肺結節検出機能（computer-aided detection；以下CAD）もCTで肺結節病変を自動で検出するAI技術として有用性が報告されています。一方、肺動静脈奇形は脳梗塞や脳膿瘍などの合併症を来す血管奇形として知られており、CADで肺動静脈奇形が検出されることがしばしば経験されるが、CADによる肺動静脈奇形の検出について検討された報告はありません。</p> <p>本研究の目的は陽性群と対照群の検査結果を比較することで、CADを用いることで肺動静脈奇形の検出能が向上するかを検討することです。肺動静脈奇形はサイズが小さい場合や多発している場合もあり、CADを用いることで診断能の向上や読影時間の短縮にもつながると考えられます。</p>		
⑩ 実施許可	研究実施許可日	2026年 2月 27日	
⑪ 研究計画書等の閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては以下の問い合わせ先にご連絡ください。		
⑫ 結果の公表	学会や論文等で公表します。		
⑬ 個人情報の保護	結果を公表する場合、個人が特定されることはありません。		

⑭ 知的財産権	山口大学に帰属します。		
⑮ 研究の資金源	放射線医学講座の奨学寄付金にて行います。		
⑯ 利益相反	ありません		
⑰ 問い合わせ先・ 相談窓口	山口大学医学部附属病院 放射線科 担当者：伊原研一郎		
	電話	0836-22-2285	FAX 0836-22-2285